

羽ばたけ通信 29号

2025.3発行

編集・発行:

羽ばたけ鮎河自治振興会

事務所:鮎河コミュニティ



今年度もいよいよ終わりを迎えようとしています。

今年度から新たに全区長さまにも役員に加わっていただき、新体制で地域の様々な問題点、課題点の改善に見直しなどを含めながら取り組んできました。

鮎河地域グランドデザイン（将来ビジョン）に基づき、みらい部会等で取組みを実施して参りましたが、農村RMO（農村型地域運営組織形成推進事業）事業も3年目を迎え、国の補助事業も終わりとなります。

地域おこしの一環として、補助を受けながらまちづくりを実施してきたところですが、若年層を中心に地域外への転出、少子高齢化など過疎化が進む中、思い通りに行かないのが現状でありまして、鮎河地域ならではの取組みや、将来も「住み続けたい、住んでみたい、来てみたい」と思える地域になるよう、ビジョンに掲げる、農用地保全、地域資源活用、生活支援の3本柱の実現に向け、継続した活動を行うと共に、住民が一致団結し、ひとつとなった魅力あるまちづくりの推進に努めて参ります。

「みらい部会」

完成したグランドデザインや昨年度のアンケートを元に「商品開発」「地域資源等によるUターン・Iターン、鮎河地区PR促進」「農用地保全・活用のプログラム」を実証事業してきました。

商品開発では、鮎河米真空パックご飯（2合300g）の試作品を作りましたので、主として土産品の商品として商品化や販売方法など検討していきます。また、イベント等で鮎河地区の維持存続についてアンケートも実施しましたので、この調査を参考に今後のまちづくりや地域活動の継続について実証していきます。

○ほっこり盆休みと称したイベントで、花火やコミュニティセンター前での飲食場所の設置や旧鮎河小学校では、昔の資料などを展示するなどをを行い、帰省者のミニ同窓会的な場所にもなり、71名の参加者がありました。



防災フェス

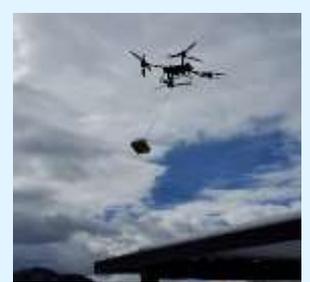
2月11日(火)祝日 9:00から、鮎河コミュニティセンターにおいて、鮎河学区のみなさん対象に、防災フェスを開催し、26名の参加をいただきました

内容)①防災グッズの紹介 ②心肺蘇生・AEDの操作実習
③ドローンによる物資搬送など



この機会に、持ち出し用リュックなど、備えを再度確認しましょう。

○防災フェスでは、日赤職員の指導による心肺蘇生の体験や(株)ニンジャリンクスの協力により、ドローンによる物資の搬送デモンストレーションを実施しました。また、非常食のビスケット、味付けごはんの試食も行いました。



「農村型地域運営組織（農村RMO）モデル形成支援事業」の補助を受け、「みらい部会」の組織で事業を実施してきましたが、今年度で補助は終わりです。今後も自治振興会中心にで継続した取組みとなるよう、以下の企画を検討していきます。

①地域資源活用では、鮎河米を活用した商品開発として2合真空パックの試作品をテスト販売し、ブランド化を図っています。また、人口の増加や移住促進に向け、集落のPR動画の配信も検討しています。今後は、地元企業との協定により、ドローンによる肥料等の散布の実施や、直播の試験散布も検討しています。

②農用地保全では、空き家を活用したイベント、地域おこし協力隊と連携した取組みや、京都芸術大学とのコラボ企画（マンガやイラスト）による地域のPRを企画検討しています。

③生活支援では、改装オープンする道の駅に鮎河菜・鮎河米を出荷するための仕組みの検討など、流通ルートの確立に向けた戦術を検討していきます。

「あんしん部会」

○地球温暖化の影響を受け、日本に限らず世界的に異常気象の影響を受けております。災害に備えて10月6日（日）大河原集会所前で防災訓練を実施しましたところ、57名の皆様に参加いただきありがとうございました。



・地域の防犯活動として防犯カメラ看板を増設しました。

・組立の容易な「かんたんテント」と、劣化ホースの取替に



「きらめき部会」

○11月16日（土）鮎河コミュニティセンターにおいて映画会を2回開催し、42名の参加がありました。



○地域イメージアップ事業は、今年も鮎河3箇所、大河原1箇所にイルミネーションを点灯しました。



○アライグマ・ハクビシンの外来種が家の中に巣作ったり、農作物のイチゴなどを食べたりと被害を及ぼしています。被害を少しでも軽減できるように捕獲籠を追加で購入しました。



「いきいき部会」

児童から高齢者まで全ての世代の方が住み慣れた地域で「いきいき」過ごせるよう、事業に取り組みました。子ども自身の主体的な活動となる工夫や、高齢者の方々には、各地で行われるサロンや100歳体操等への活動支援の実施や、リニューアルされた鮎河コミュニティセンターの施設を活用した事業も実施しました。

○9月22日(日) 9:30～ 鮎河コミュニティセンターでの陶芸教室の実施の状況です。14名の方に参加いただきました。



○11月17日(日) 13:00～ 鮎河コミュニティセンターでの苔玉教室を実施し、16名の方に参加いただきました。

○敬老事業として9月15日(日)に、大河原区・東野区、9月16日(月)は西野区において、祝品を渡しました。75歳以上は大河原で41名、東野区では65名、西野区では55名の方々をお祝いしました。男性58名、女性103名で合計161名の方、いつまでも元気で長生きしていただきたいものです。

○11月1日(金) 13:30～ 鮎河コミュニティセンターにおいて、女性を対象に甲賀市人権推進課の方を講師に迎え、人権サロンを開催しました。参加者は28名で、みんなで楽しみながら人権について学びました。



12月15日、16日の両日に正月向けとして、寄せ植え教室に29名の参加でした



○鮎っ子育成事業として、冬休みお楽しみクリスマス会を東野集落センターにて開催しました。8名の子どもたちは、百人一首遊びや簡単マフィンづくりなどを行いました。マフィンづくりなどを行いました。図書券の配布と、昼食にカレーを提供し、楽しいクリスマスとなりました。



○3月7日(金) 13:30～ 鮎河コミュニティセンターにおいて、健康教室を開催しました。講師の甲賀市スポーツ推進委員の大西様には、椅子に座っての体操と土山保健センターの船越保険師には減塩の食事について学びました。日頃の運動不足と減塩の食事生活の重要性を痛感されていました。参加者は33名でした。

